

抗凝固薬服用者の家族ケアに関する調査 結果報告書

平成25年10月29日

株式会社QLife(キューライフ)

調査の背景

心原性脳塞栓症を予防する経口抗凝固薬として、長きにわたり採用されてきたワーファリン(ワルファリン)だが、食事制限や定期的な血液検査が必要など、負担に感じている患者も一定数存在する。一方で、そういった課題を克服し、最近相次いで登場した新規経口抗凝固薬は、変更した患者の満足度も高くなっている。(<http://www.qlife.jp/square/feature/apoplexy/story34814.html>) こうした、新旧の経口抗凝固薬に対する意識について、患者に最も近い存在である家族はどう感じているのか。そこで、今回、弘前大学大学院医学研究科 循環呼吸腎臓内科学講座 教授 奥村謙先生監修のもと、経口抗凝固薬を服薬している患者の家族を対象に、調査を行った。

主な結論

今回の調査で、抗凝固療法で患者が感じるストレスや不満は、そのまま家族のストレスや不満として影響を及ぼしていることが分かった。服薬期間が長くなることが多い抗凝固療法は、より負担が少ない方が服薬コンプライアンスも向上し、良好なコントロールが可能となる。食生活や服薬管理の面などで、治療継続を負担に感じている場合は、より“我慢しない”治療が可能となる新規経口抗凝固薬も選択肢の一つに加え、かかりつけ医に相談してみるのも良いだろう。

結論の概要

- 1) ワーファリン服用患者の家族は新規経口抗凝固薬と比較して、日常生活において注意すべき点が多く、その内容は多岐にわたっている。
経口抗凝固薬に関する日常生活の注意点について、86.7%の患者家族は何らかの説明を受けている。説明内容は「疾患」「薬の効果・安全性」「食生活における注意」が多くみられたほか、全ての項目において、ワーファリン服用患者の方が新規経口抗凝固薬服薬の患者よりも多岐にわたる説明を受けている。
- 2) 約2～3割の患者が「食生活に気をを使う」「生活上の工夫で出血リスクを下げる」ことに負担を感じている。
「食生活に気を配る」ことについて、29.4%の患者家族が負担に感じている。また同様に、21.1%の患者家族が出血リスクを減らすための生活上の工夫を負担に感じている。
- 3) 約4人に1人の患者家族は服薬管理することを負担に感じている
患者家族の約3人に1人が正しく服薬しなかったケースを発見しているものの、服薬管理に介入することは患者家族の4人に1人が負担に感じており、半数以上の患者家族が服薬管理を患者本人に任せている。
- 4) ワーファリンから新規経口抗凝固薬へ変更した患者家族の4割以上が食生活の負担が軽減されている
4割を超える患者家族が、新規経口抗凝固薬への変更で食生活の負担が軽減されたと回答した。服薬管理についても2割を超える患者家族が負担が軽減されたと回答。

【調査実施概要】

▼調査主体

株式会社QLife(キューライフ)

▼実施概要

- (1) 調査対象: 抗凝固剤を服用している患者の家族
- (2) 有効回収数: 1000人
- (3) 調査方法: インターネット調査
- (4) 調査時期: 2013/9/30～2013/10/4

▼有効回答者の属性

(1) 年代:

年代	男性	女性	n
20代	3	6	9
30代	47	55	102
40代	137	148	285
50代	145	182	327
60代	67	135	202
70代	37	38	75
80代以上	0	0	0
総計	436	564	1000

年代	男性	女性	%
20代	0.7%	1.1%	0.9%
30代	10.8%	9.8%	10.2%
40代	31.4%	26.2%	28.5%
50代	33.3%	32.3%	32.7%
60代	15.4%	23.9%	20.2%
70代	8.5%	6.7%	7.5%
80代以上	0.0%	0.0%	0.0%
総計	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 居住地:

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県
5.2%	0.9%	0.7%	1.8%	0.2%	1.0%	0.8%	2.3%	1.2%	1.1%
埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県
4.9%	4.9%	12.6%	8.2%	2.3%	1.1%	0.9%	0.3%	0.1%	1.5%
岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
2.1%	3.4%	4.9%	1.7%	1.1%	3.4%	6.9%	5.8%	1.6%	0.8%
鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
0.5%	0.7%	1.4%	1.7%	1.0%	0.5%	0.5%	0.9%	0.7%	3.9%
佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県			
0.6%	0.8%	1.0%	0.7%	0.7%	0.4%	0.3%			

(3) 患者が服用中の抗凝固薬

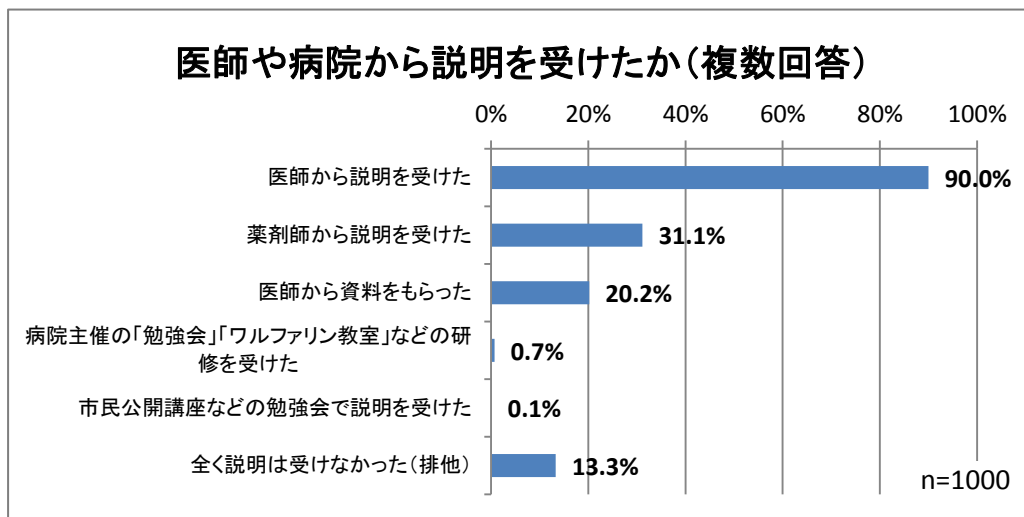
	n	%
ワーファリン(ワルファリン)	400	40.0%
ワーファリン→新規経口抗凝固薬に変更	200	20.0%
新規経口抗凝固薬	400	40.0%
総計	1000	100.0%

【Q1】医師や病院から抗凝固薬に関する日常生活の注意点について、説明を受けたことはありますか。当てはまるものを全てお答えください。（複数回答）

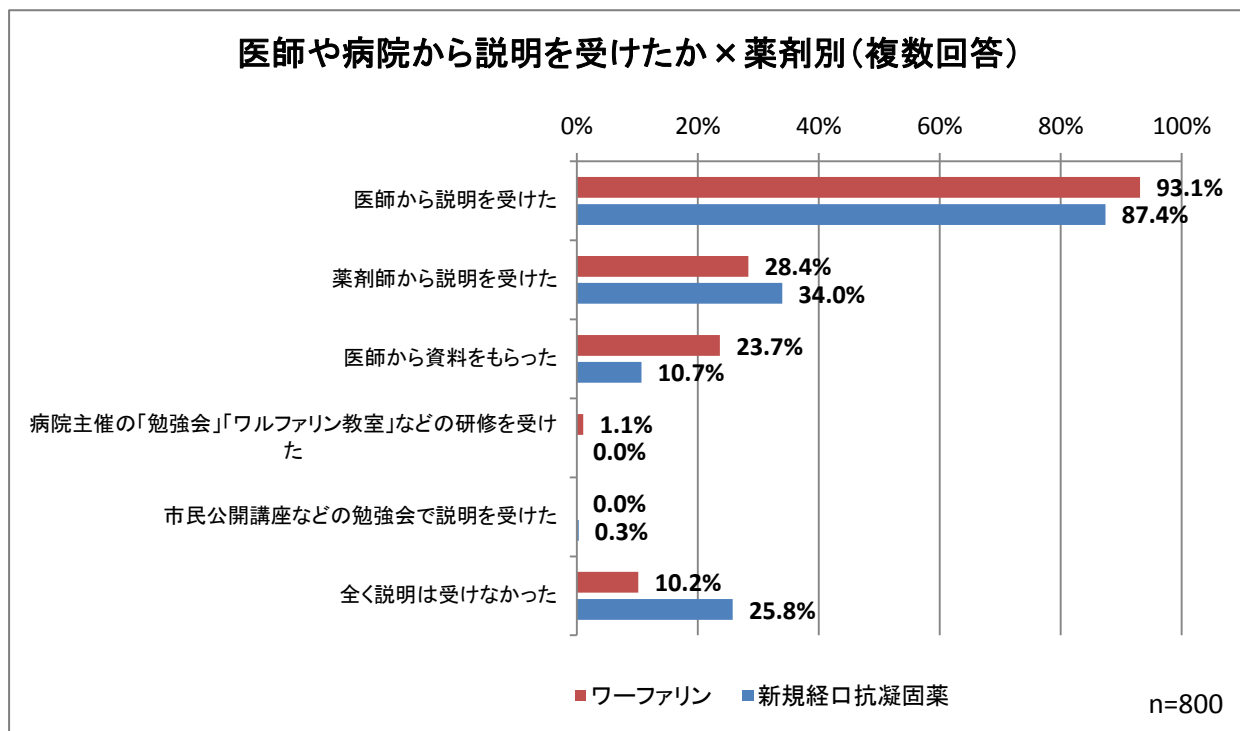
何らかの説明を受けたと回答した患者家族は全体の86.7%となった。説明方法については「医師からの説明」が最も多く(90.0%)、次いで「薬剤師から説明」「医師から資料をもらった」となった。薬剤別では、新規抗凝固薬服用患者の家族の25.8%が「全く説明を受けていない」と回答。ワーファリン服用患者の家族の10.2%と大きな差異が見られた。

n=1000

	n	%
医師から説明を受けた	780	90.0%
薬剤師から説明を受けた	270	31.1%
医師から資料をもらった	175	20.2%
病院主催の「勉強会」「ワルファリン教室」などの研修を受けた	6	0.7%
市民公開講座などの勉強会で説明を受けた	1	0.1%
小計	867	142.1%
全く説明は受けなかった	133	13.3%
総計	1000	



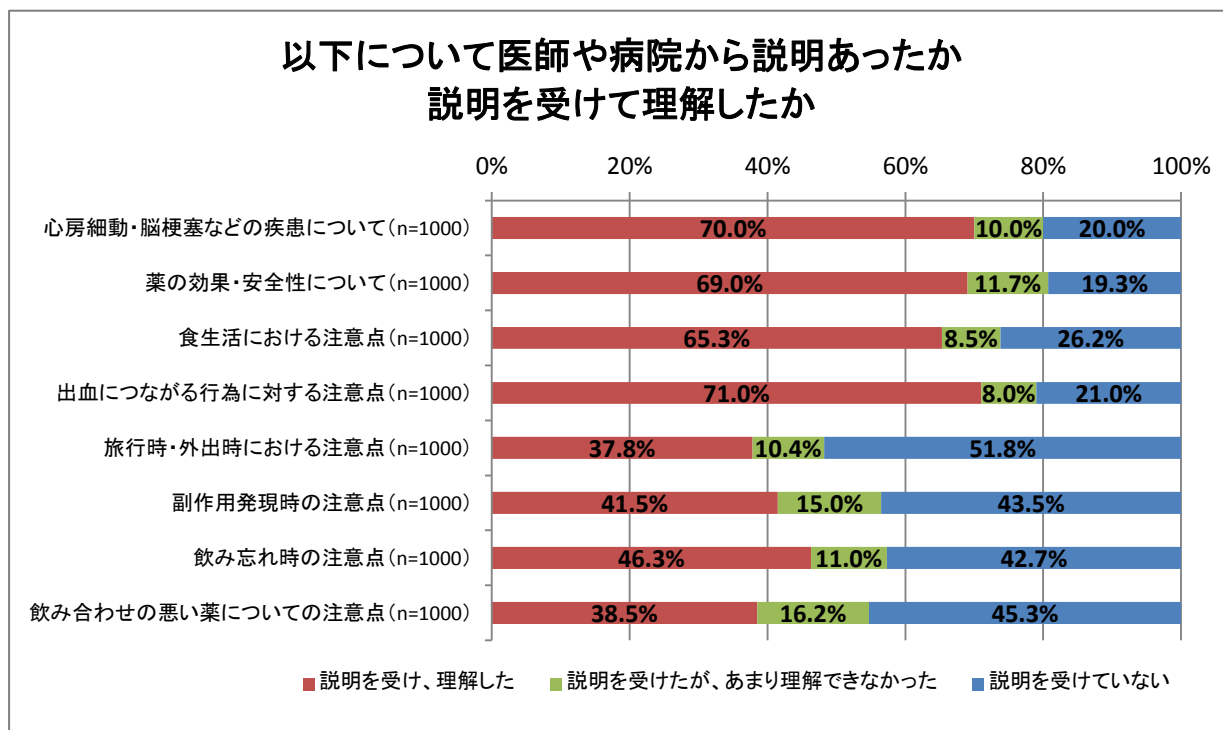
【Q1】医師や病院から抗凝固薬に関する日常生活の注意点について、説明を受けたことはありますか。当てはまるものを全てお答えください。(つづき)



【Q2】以下の事柄について、医師や病院から説明を受けましたか。また説明を受けて、理解しましたか。

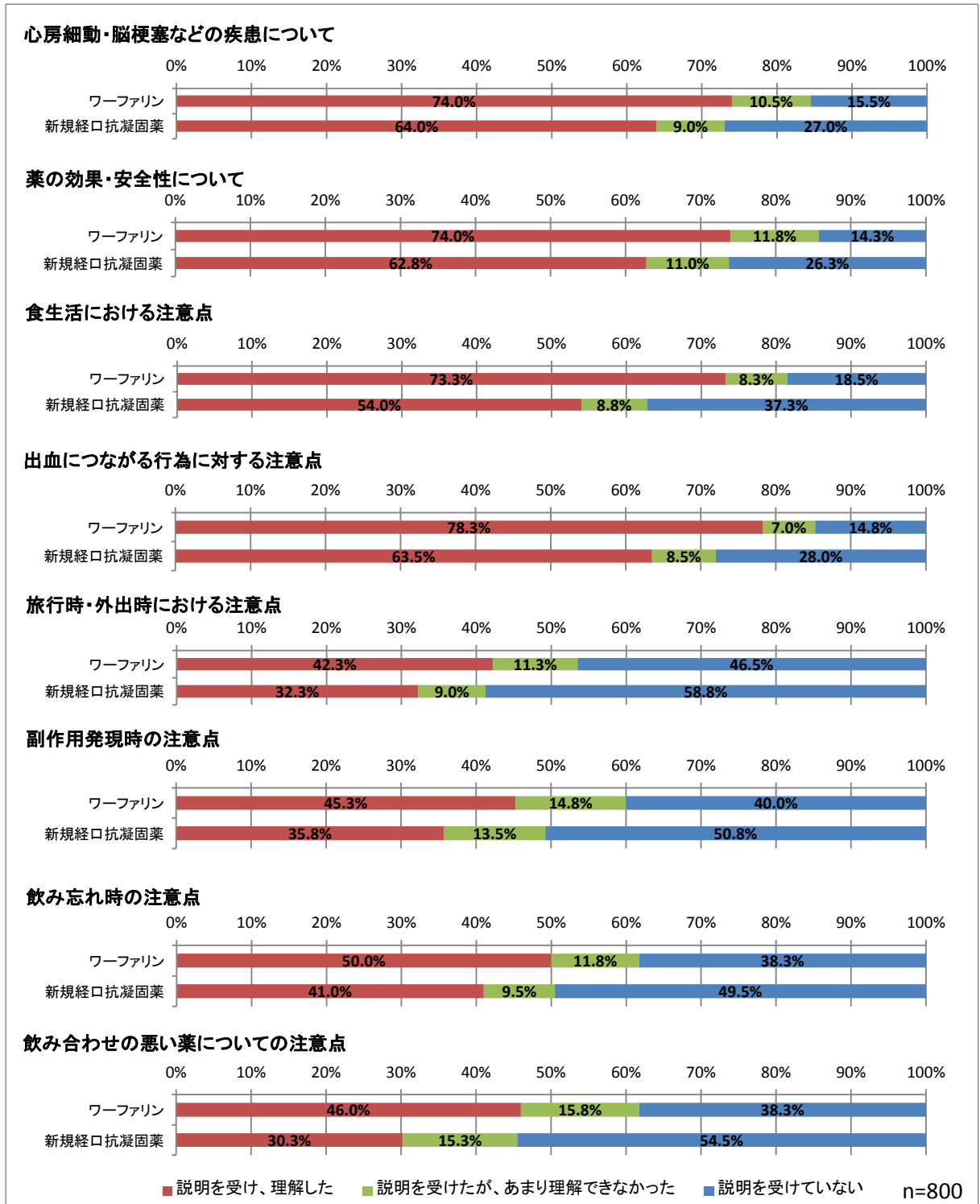
説明内容別の説明の有無については、「疾患について」「薬の効果・安全性について」「食生活における注意点」「出血につながる行為に対する注意点」については7割以上の患者家族が「説明を受けた」と回答した一方、「旅行時・外出時における注意点」については半数以上の患者家族が「説明を受けていない」と回答した。内容の理解度については、「食生活」「出血につながる行為」について「説明を受け、理解した」割合が高い一方、「副作用発現時の注意点」「飲み忘れ時の注意点」については、「あまり理解できなかった」患者家族の割合が高くなった。

	説明を受け、理解した	説明を受けたが、あまり理解できなかった	説明を受けていない	n (%)
心房細動・脳梗塞などの疾患について (n=1000)	700 (70.0%)	100 (10.0%)	200 (20.0%)	1000 (100.0%)
薬の効果・安全性について (n=1000)	690 (69.0%)	117 (11.7%)	193 (19.3%)	1000 (100.0%)
食生活における注意点 (n=1000)	653 (65.3%)	85 (8.5%)	262 (26.2%)	1000 (100.0%)
出血につながる行為に対する注意点 (n=1000)	710 (71.0%)	80 (8.0%)	210 (21.0%)	1000 (100.0%)
旅行時・外出時における注意点 (n=1000)	378 (37.8%)	104 (10.4%)	518 (51.8%)	1000 (100.0%)
副作用発現時の注意点 (n=1000)	415 (41.5%)	150 (15.0%)	435 (43.5%)	1000 (100.0%)
飲み忘れ時の注意点 (n=1000)	463 (46.3%)	110 (11.0%)	427 (42.7%)	1000 (100.0%)
飲み合わせの悪い薬についての注意点 (n=1000)	385 (38.5%)	162 (16.2%)	453 (45.3%)	1000 (100.0%)



【Q2】以下の事柄について、医師や病院から説明を受けましたか。また説明を受けて、理解しましたか。(つづき)

ワーファリンと新規経口抗凝固薬での、説明の有無についての比較では、今回挙げた8テーマのすべてでワーファリン服用患者の家族の方が「説明を受けた」とする割合が多かった。差異が最も大きかったのが「食生活について」で、ワーファリン服用患者の家族の8割以上が「説明を受けた」と回答した一方、新規経口抗凝固薬服用患者では約6割が「説明を受けた」と回答した。



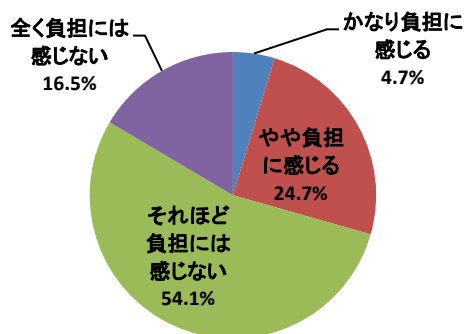
【Q3】食生活に気を配らなければならないことを心理的または経済的に負担に感じますか。

29.4%の患者家族が「かなり負担に感じる」「やや負担に感じる」と回答した。薬剤別では、ワーファリン服薬患者の家族では31.1%、新規経口抗凝固薬服薬患者の家族では24.3%が「(かなり)(やや)負担に感じる」と回答した。

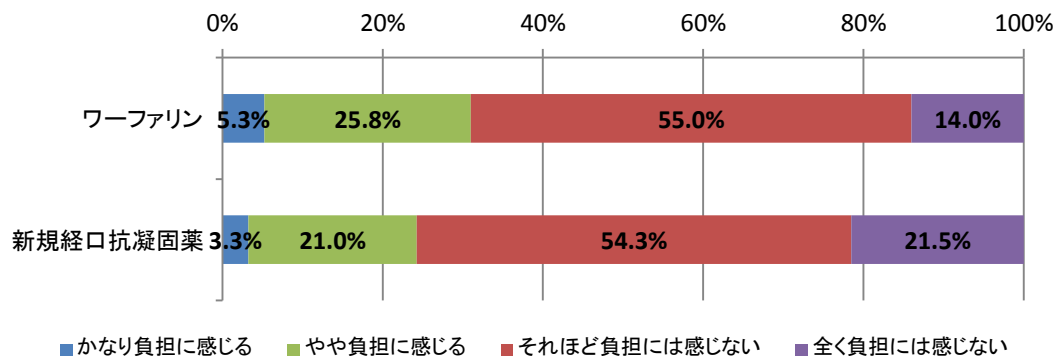
n=1000

	n	%
かなり負担に感じる	47	4.7%
やや負担に感じる	247	24.7%
それほど負担には感じない	541	54.1%
全く負担には感じない	165	16.5%
総計	1000	100.0%

食生活への配慮は負担と感じるか



食生活への配慮は負担と感じるか × 薬剤別



【Q4】抗凝固薬の服用を始めた前後で、食事のメニューなど食生活はどのように変化しましたか。具体的に教えてください。

「納豆」「青汁」といった、ワーファリンと相互作用を持つ具体的な食材名を挙げた回答が多く見られたほか、「塩分や脂分を減らす」「和食中心にする」などの食生活習慣を変えた、とする回答が見られた。

以下に代表的なコメントを掲載する。

【納豆】

- ・患者が納豆を食べられなくなったので、自分も食べないことにした。(女性・40代)
- ・納豆がたべられなくなったが、食事の基本はかわらなかった。どうしても納豆がたべたいために、3年後薬を変更してもらった。(女性・50代)
- ・毎日、納豆を摂取していたが、一切食べなくなった。青汁などを摂取しなくなった。しかし、本人の希望で、納豆の食べられる薬に変更したので、最近は元通りに納豆を摂取するようになった。(女性・30代)

【青汁・野菜】

- ・毎日、青汁を飲んでいたがやめた。(男性・70代)
- ・大好物の納豆、青汁をやめた。(女性・40代)
- ・特に納豆・青汁は100パーセント避け、緑の濃い野菜などはなるべく摂らないように工夫しています。(女性・40代)

【塩分】

- ・塩分控えめの薄味に変えた。(男性・50代)
- ・納豆のほか塩辛い食品は控えるようにしている。(男性・50代)
- ・塩分を大幅にカット。水分を多く取るようにした。一切のアルコールを絶った。(男性・50代)

【油・脂分】

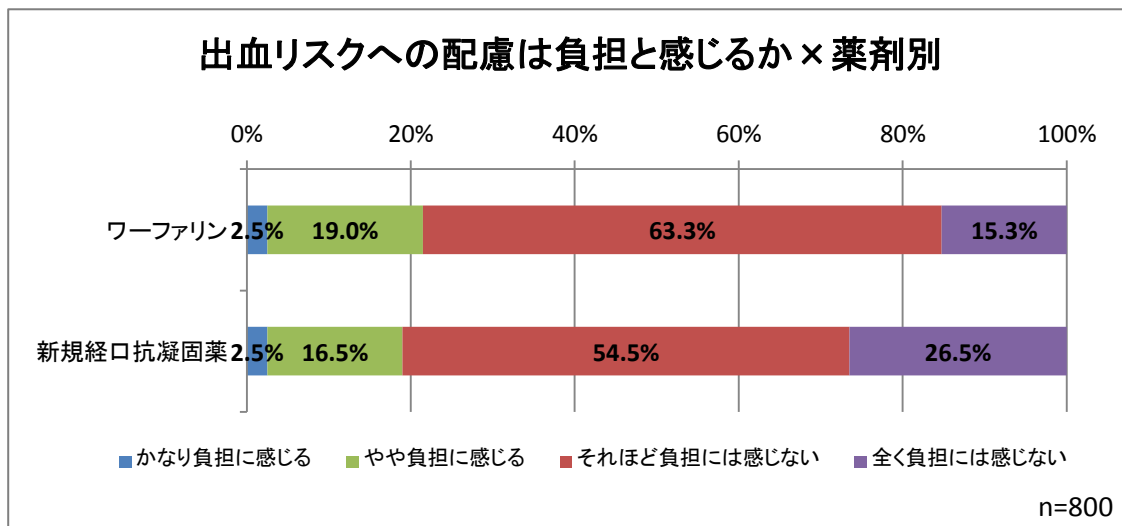
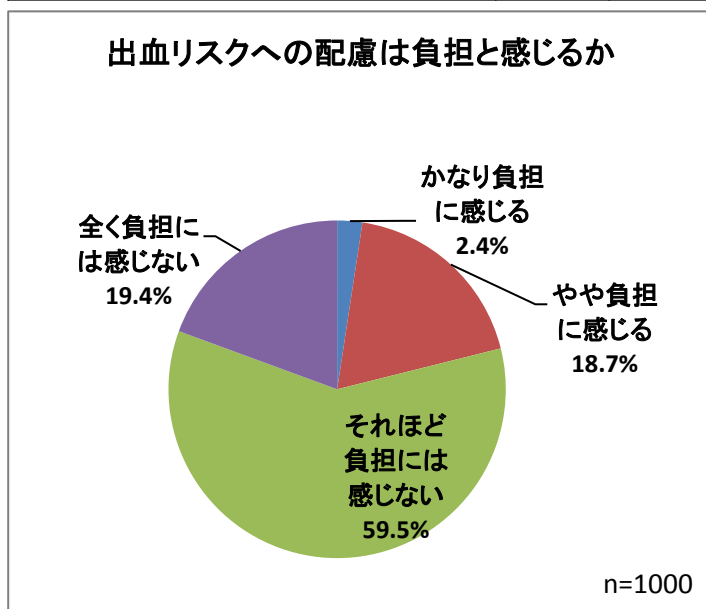
- ・脂っこいものの量を減らす。塩分を減らす。カロリーを制限する。(男性・70代)
- ・以前は脂質の多い食べ物が多かったが最近はバランスよく魚・野菜などを中心に変えた。(男性・60代)
- ・食生活は減量目的での工夫が必要になった。アルコール・たばこの量を気を付けるようになっている。(女性・50代)

【Q5】出血リスクを減らすための生活上の工夫をすることに、心理的または経済的に負担を感じますか。

21.1%の患者家族が「かなり負担を感じる」「やや負担を感じる」と回答した。薬剤別では「負担を感じる」割合に大きな差異は無いが、「全く負担には感じない」と回答した割合について、ワーファリン服用患者の家族は15.3%、新規経口抗凝固薬服用の患者家族は26.5%と差異が見られた。

n=1000

	n	%
かなり負担を感じる	24	2.4%
やや負担を感じる	187	18.7%
それほど負担には感じない	595	59.5%
全く負担には感じない	194	19.4%
総計	1000	100.0%



【Q6】出血リスクを減らすために、生活上で工夫したことは何ですか。具体的に教えてください

大きく分けて「切り傷を作らないようにするため」と「内出血・あざを作らないようにするため」の生活上の工夫をしている、という回答が多く見られた。以下に代表的なコメントを掲載する。

【切り傷を作らないようにする】

- ・カミソリやカッターナイフなど刃物を使わせない。(女性・50代)
- ・耳掃除のとき、血が出ないように心がけている。(女性・40代)
- ・冬になると空気の乾燥により足の踵の皮膚がひび割れて、自然に出血してしまうので、ワセリンなどで皮膚の乾燥を防いでいる。(男性・40代)
- ・歯ブラシの毛先を硬いから柔らかいものに変えた。(女性・60代)
- ・髭剃り時、電気シェーバー以外は使わない。(男性・50代)
- ・鼻血などが出ないように、鼻をきつくつまんだりしないようにしている。(男性・50代)
- ・保湿クリームを塗ったり出血が分かりやすい衣類の色に変えている。(男性・30代)
- ・歯医者に行き抜歯の予定がある時にだけ、薬を飲まないように気をつけた。(女性・40代)
- ・歯の治療の際には出血が伴うかどうか、確認している。(女性・50代)

【内出血・あざを作らないようにする】

- ・ちょっとしたことで出血しやすく、少し打撲しただけで青アザになるのでベット周りの柵に緩衝材を巻いたりしている。(女性・50代)
- ・肌の露出をしないように長袖長ズボンを身に着けるようになった。(女性・40代)
- ・転んで、ぶつけたりしそうな家の中の場所に、衝撃吸収材をとりつけた。(男性・50代)
- ・高齢(92歳)のため、外出する際には、必ず家族が同行することにした。家の中をすべて手すりを付けた。風呂もリフォームして高齢者が使いやすいものにした。(男性・60代)

【その他】

- ・ワーファリン患者であることを示す手帳を持ち歩いている。(女性・50代)
- ・とにかかけがをしないように。虫歯でも気を付けている。外出時はもしもにそなえて、血が止まりにくいと書いたメモを持ち歩いている。(女性・60代)
- ・血が止まりにくいとは聞いているが、一度ハサミで誤って手を切った時も全く固まらない訳ではなかったので、生活上での出血リスクは考えていない。(女性・30代)

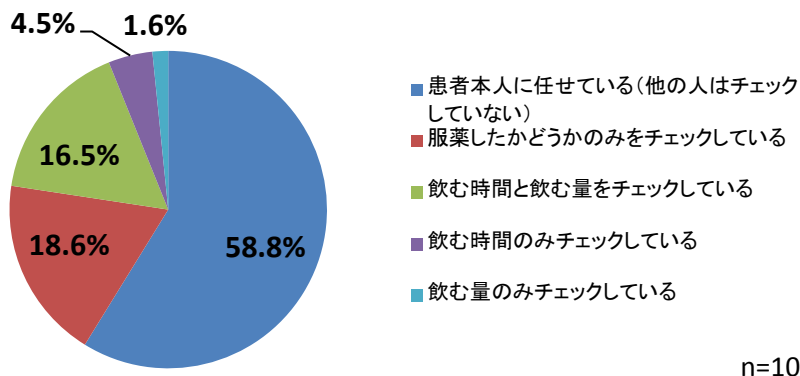
【Q7】家族など、患者本人以外の誰かが、服薬管理を行っていますか。

服薬管理について、患者家族の58.8%が「患者本人に任せている」と回答。「飲む時間・量ともにチェックしている」と回答したのは16.5%にとどまった。薬剤別でも大きな差異は見られなかった。記録先には、お薬手帳や血圧手帳、資材など、薬局や医師からもらう資料・資材でチェックするという意見が最も多く、次いでピルケースを利用する、とした回答が多く挙がった

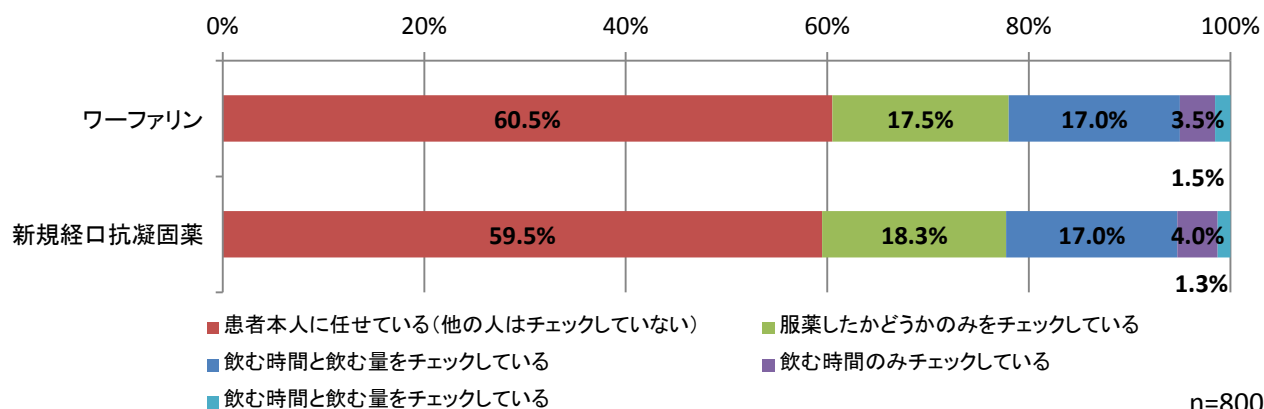
n=1000

	n	%
患者本人に任せている(他の人はチェックしていない)	588	58.8%
服薬したかどうかのみをチェックしている	186	18.6%
飲む時間と飲む量をチェックしている	165	16.5%
飲む時間のみチェックしている	45	4.5%
飲む量のみチェックしている	16	1.6%
合計	1000	100.0%

本人以外が服薬管理しているか



本人以外が服薬管理しているか×薬剤別

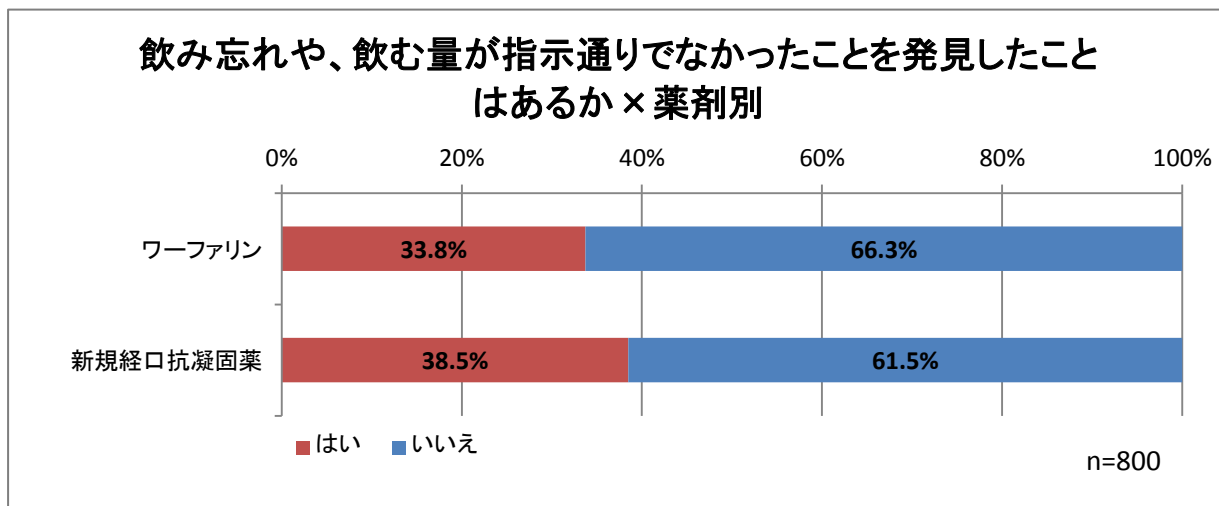
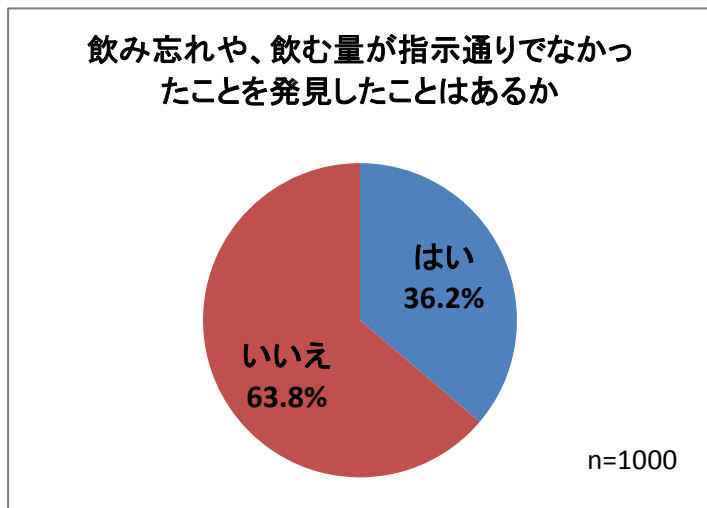


【Q8】飲み忘れを発見したり、飲む量が指示通りでなかったことを発見したことはありますか。

患者が正しく服薬しなかったケースについて、家族の約3人に1人が「発見したことがある」と回答。薬剤別では、新規経口抗凝固薬の方が若干、「発見した」割合が高くなっている。

n=1000

	n	%
はい	362	36.2%
いいえ	638	63.8%
総計	1000	100.0%

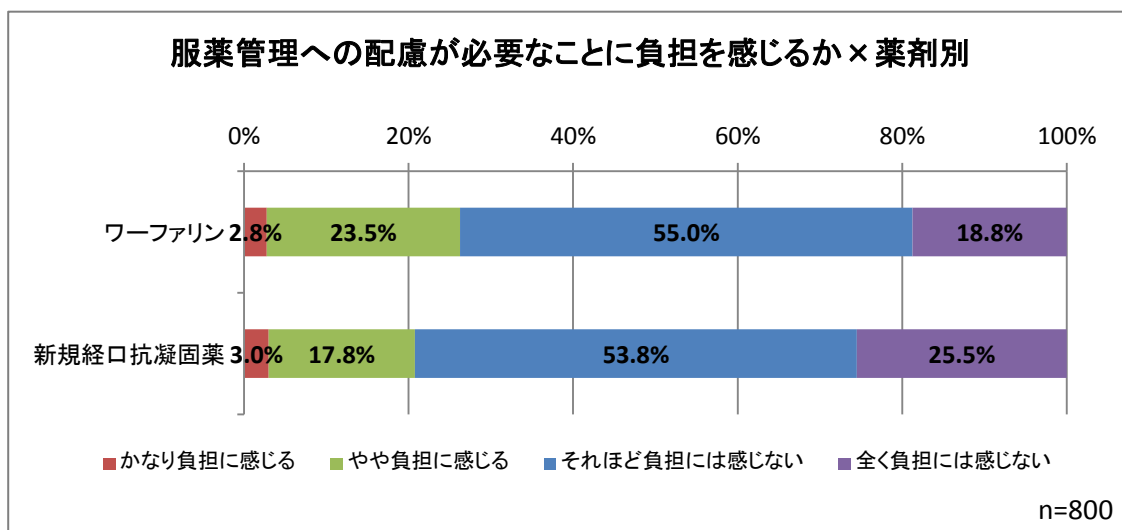
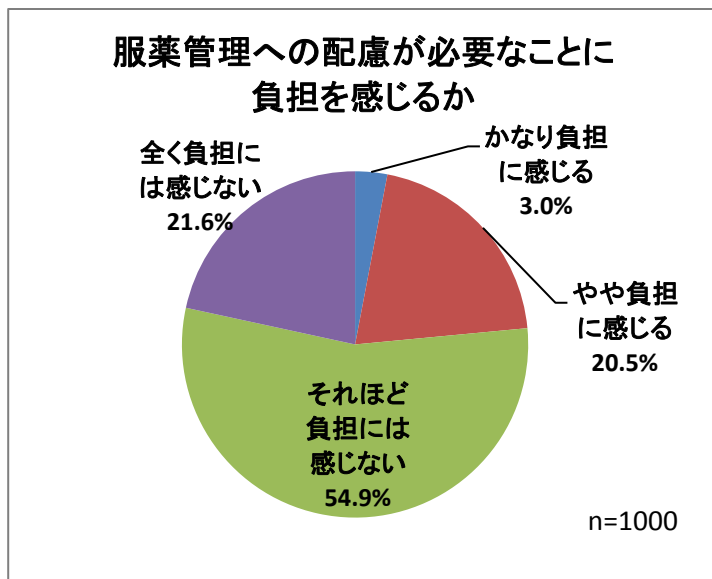


【Q9】服薬管理に気を配らなければならないことを心理的または経済的に負担に感じますか。

患者家族の23.5%が服薬管理に「かなり負担に感じる」「やや負担に感じる」と回答した。薬剤別では、ワーファリン服薬患者の家族が「負担に感じる」と回答した割合が、新規経口抗凝固薬の割合を若干上回った。

n=1000

	n	%
かなり負担に感じる	30	3.0%
やや負担に感じる	205	20.5%
それほど負担には感じない	549	54.9%
全く負担には感じない	216	21.6%
総計	1000	100.0%

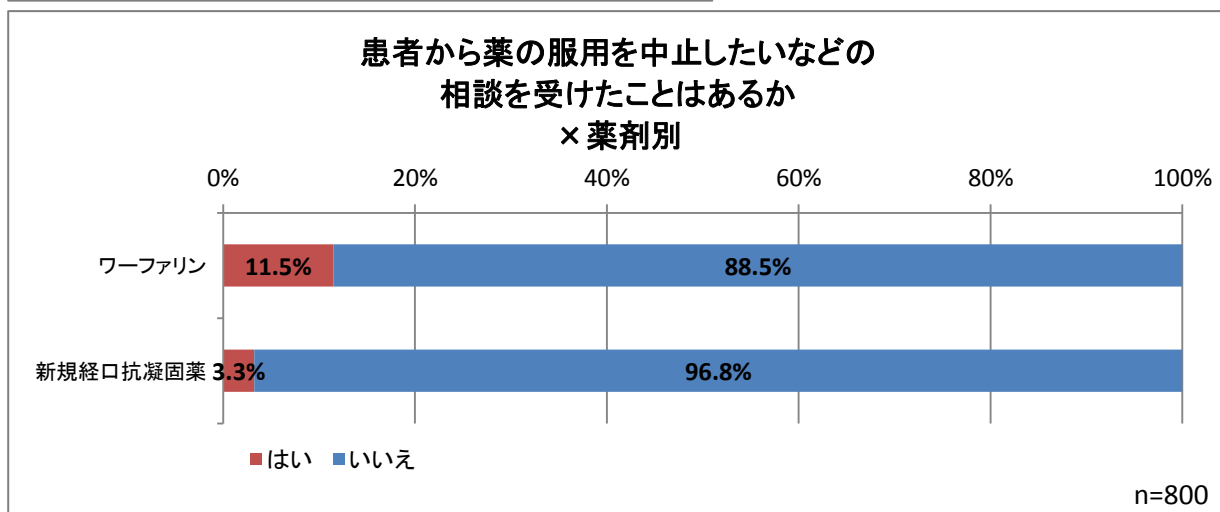
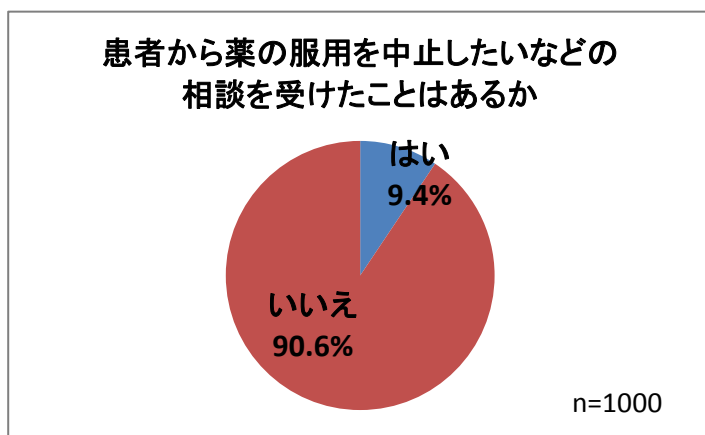


【Q10】患者本人から「納豆が食べられない」「怪我に気をつけなければならない」などの不満を訴えられたり、薬の服用を中止したいと相談されたことはありますか。

9.4%の患者家族が服薬中止の相談を受けたことがあると回答した。薬剤別ではワーファリン服用患者が11.5%に対し、新規経口抗凝固薬はわずか3.3%と大きな差異が見られた。

n=1000

	n	%
はい	94	9.4%
いいえ	906	90.6%
総計	1000	100.0%



【Q11】「患者本人から不満を訴えられたり相談を受けた」とのことですが、その具体的内容を教えてください。

患者が訴える不満の内容はQOLに関するものがほとんどで、特に「納豆を食べたい」と訴えるものが多く見られた。以下に代表的なコメントを掲載する。

- ・自分では覚えのないアザが多く出来て 人目に見えるのが嫌だったみたいです。(女性・40代)
- ・納豆が大好物だったので「死ぬ前には食べさせて欲しい。」と言われた。(女性・40代)
- ・発作が起きることへの不安(旅行をしたくても怖くてできない)日常生活での疲労感によるイラ立ち。行動範囲が狭くなり外出がおっくうになった。(女性・30代)
- ・好きなモノが食べられないなら死んだほうがまし、などと言われたが、生きてるだけでありがたいと思うように説得した。(男性・40代)
- ・全ての薬は体に悪影響を及ぼすとの考えが強く、飲みたがらないので、当初はよく言い争いになった。ワーファリンを飲み始めて10年経ち、今は自主的に飲んでいる。(男性・70代)
- ・バイクが好きで、転倒したりすると大変な事になるので、薬の服用をなくすために、カテーテルアブレーションを行なったことがある。(女性・50代)
- ・納豆を食べるのが毎日というのは、私は好きなので抵抗ないのですが、家族には遭ったと思います。ひき割りや、小粒にしたり、レシピを探したり。あと、一緒に食べるようにして、決して孤独にならないように気をつけました。(女性・40代)
- ・「今まで毎日飲んでいて市販の痛み止めが飲めない」と文句を言われた。(男性・50代)
- ・納豆やほうれん草が大好きなのに、食べられなくて辛いと言われた。(男性・40代)
- ・飲み続けることで起きる胃の不快感など体調の変化、薬品代などの経済的負担への心配。(女性・50代)

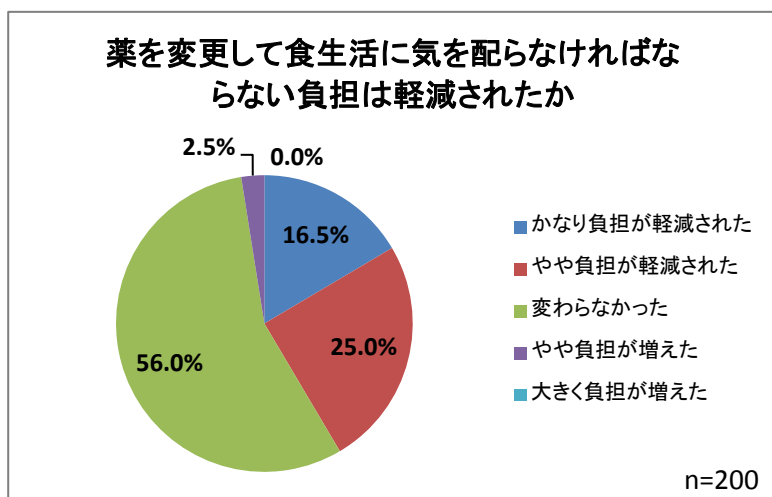
【Q12】(ワーファリンから新規経口抗凝固薬に変更した患者家族対象)

抗凝固薬を途中で変えたとのことですが、お薬を変えたことによって、食生活に気を配らなければならない負担は軽減されましたか。

41.5%の患者家族が、新規経口抗凝固薬に変更して「かなり負担が軽減された」「やや負担が軽減された」と回答した。

n=200

	n	%
かなり負担が軽減された	33	16.5%
やや負担が軽減された	50	25.0%
変わらなかった	112	56.0%
やや負担が増えた	5	2.5%
大きく負担が増えた	0	0.0%
	200	100.0%



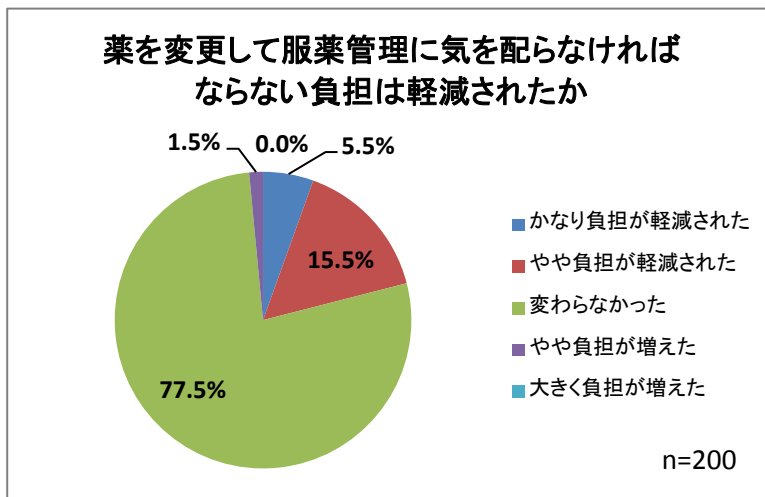
【Q13】(ワーファリンから新規経口抗凝固薬に変更した患者家族対象)

お薬を変えたことによって、「服薬管理に気を配らなければならない負担」は軽減されましたか。

21%の患者家族が、新規経口抗凝固薬に変更して「かなり負担が軽減された」「やや負担が軽減された」と回答した。

n=200

	n	%
かなり負担が軽減された	11	5.5%
やや負担が軽減された	31	15.5%
変わらなかった	155	77.5%
やや負担が増えた	3	1.5%
大きく負担が増えた	0	0.0%
	200	100.0%



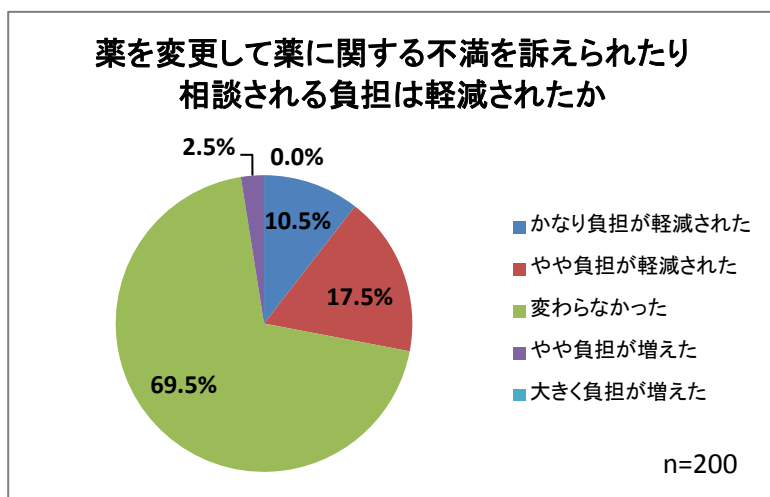
【Q14】(ワーファリンから新規経口抗凝固薬に変更した患者家族対象)

お薬を変えたことによって、「薬に関する不満を訴えられたり相談される負担」は軽減されましたか。最も当てはまるものを教えてください。

28%の患者家族が、新規経口抗凝固薬に変更して「かなり負担が軽減された」「やや負担が軽減された」と回答した。

n=200

	n	%
かなり負担が軽減された	21	10.5%
やや負担が軽減された	35	17.5%
変わらなかった	139	69.5%
やや負担が増えた	5	2.5%
大きく負担が増えた	0	0.0%
	200	100.0%

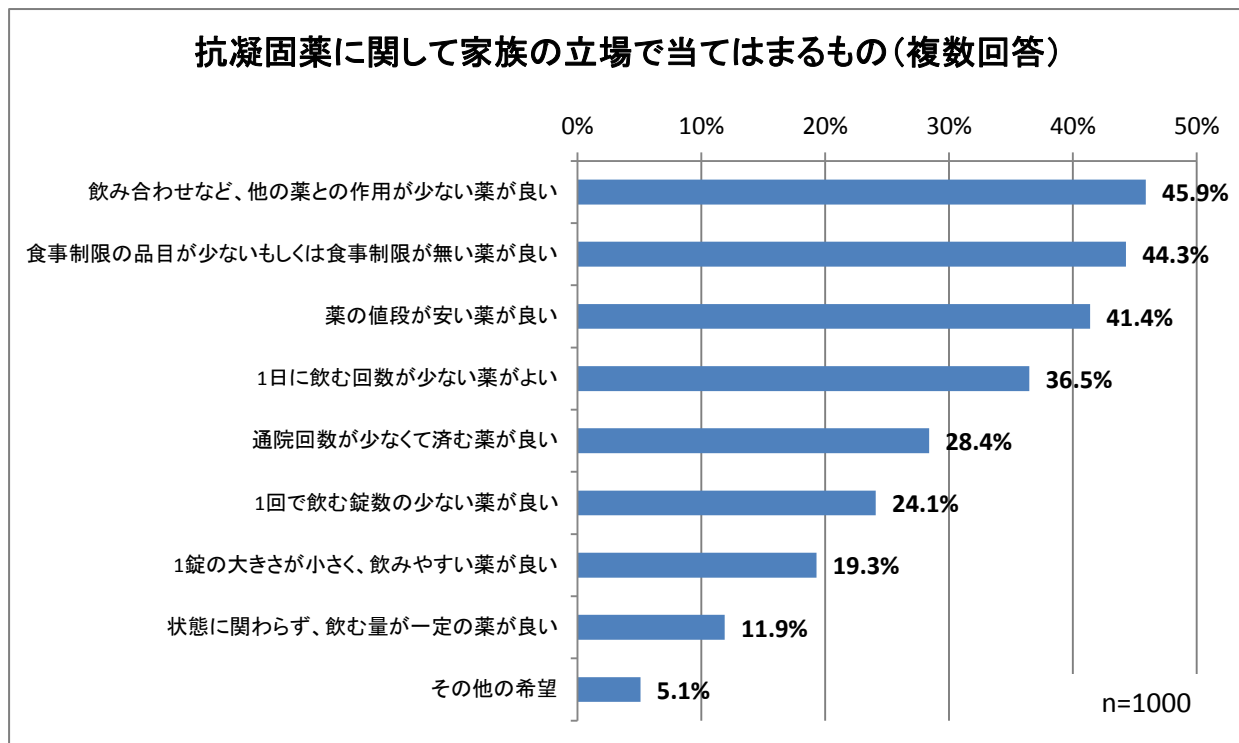


【Q15】望ましい抗凝固薬に関して、家族の立場で当てはまるものを全てお教えてください。(複数回答)

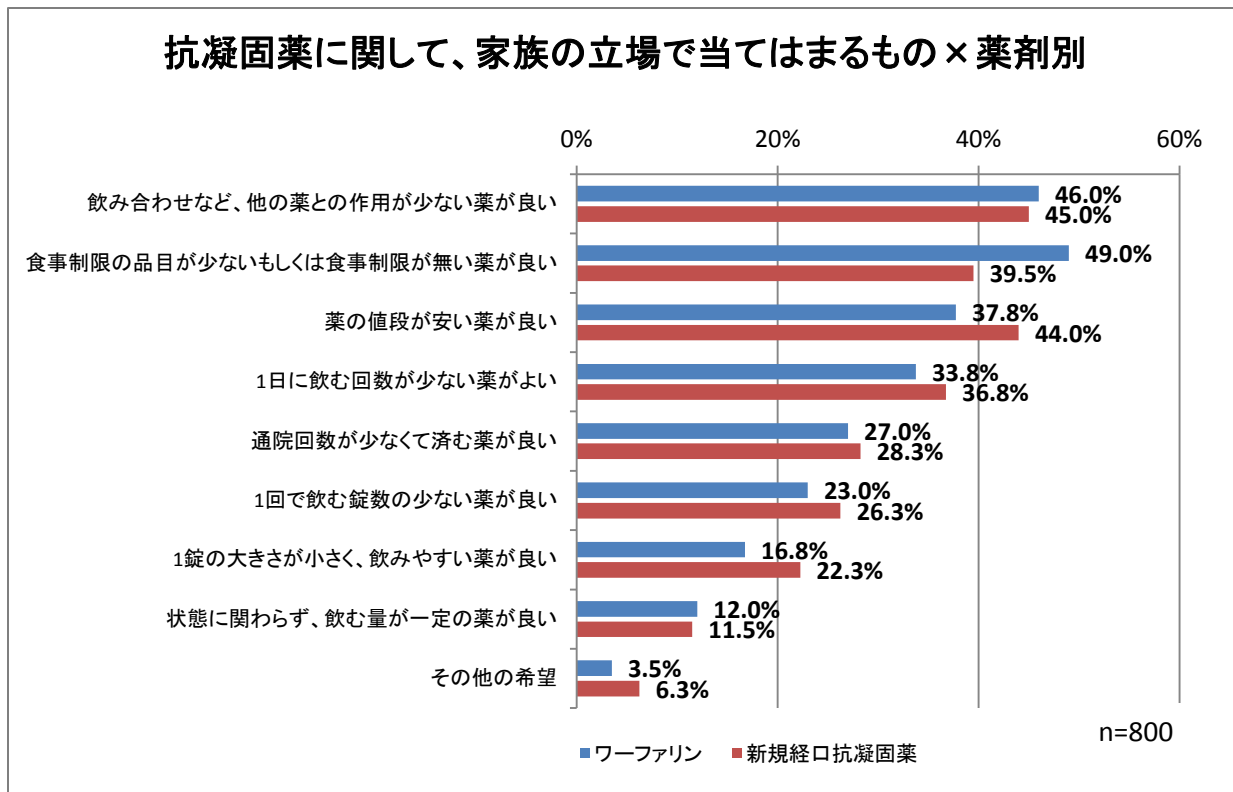
最も多かったのが「他の薬との作用が少ない薬」で45.9%の患者家族が望んでいる。次いで、「食事制限が少ない・無い薬」「1日に飲む回数が少ない」となった。薬剤別では、ワーファリンは「食事制限が少ない・無い」が最も多かった一方、新規経口抗凝固薬では、「他の薬との作用が少ない薬」が最も多かった。

n=1000

	n	%
飲み合わせなど、他の薬との作用が少ない薬が良い	459	45.9%
食事制限の品目が少ないもしくは食事制限が無い薬が良い	443	44.3%
薬の値段が安い薬が良い	414	41.4%
1日に飲む回数が少ない薬がよい	365	36.5%
通院回数が少なくて済む薬が良い	284	28.4%
1回で飲む錠数の少ない薬が良い	241	24.1%
1錠の大きさが小さく、飲みやすい薬が良い	193	19.3%
状態に関わらず、飲む量が一定の薬が良い	119	11.9%
その他の希望	51	5.1%
小計	2569	256.9%
計	1000	



【Q15】抗凝固薬に関して、家族の立場で当てはまるものを全て教えてください。(複数回答)(つづき)



本調査に関するお問い合わせ先:

株式会社QLife 広報担当 田中 智貴
TEL : 03-3500-3525 / E-mail : info@qlife.co.jp

<株式会社QLifeの会社概要>

会社名 : 株式会社QLife(キューライフ)
所在地 : 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-1 ボッシュビル赤坂7F
代表者 : 代表取締役 山内善行
設立日 : 2006年(平成18年)11月17日
事業内容 : 健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業
企業理念 : 医療と生活者の距離を縮める
サイト理念 : 感動をシェアしよう!
URL : <http://www.qlife.co.jp/>
